

3 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	津田 廣一	参加 メンバー	CL:津田 廣一 尾崎 寿則 Hさん Oさん Yさん
山 域	鈴鹿山脈	報告日	03 / 14		
山 名	御在所岳*****	山行日	12年 03月 03日(土)		

山行目的	雪山ハイキングを楽しむ	コースタイム(天候:天気図記号)
------	-------------	------------------

配布先	ルート図(地図を見て正確に)
集会:12	
山行:1	
リーダー	
原紙:集会担当者	

ルート図(地図を見て正確に)



2.5 万分の 1 地図: 御在所

- 3/3 晴れ
- 07:05 刈谷 DN 東 P 発
 - 08:10 御在所 SA(2 人と合流)
 - 08:45 鈴鹿スカイラインゲート
 - 09:05 ゲート発
 - 09:15 裏道登山口
 - 10:10 藤内小屋一本(10分)
 - 11:00 アイゼン装着
 - 12:00 国見峠手前一本(10分)
 - 12:50 御在所岳山頂
 - 13:30 山頂発
 - 14:25 7合目一本(10分)
 - 15:55 中道登山口
 - 16:20 ゲート着
 - 17:00~18:00 片岡温泉
 - 19:15 刈谷着



山行報告 山仲間 H さんの「雪のある山へ登りたい」の 1 月のハイキングの時の一言から始まった。「装備は?どこか、登った事は?」「雪山経験なし。装備もなし」「軽アイゼンは?」「持ってないよ」(う~ん、2 月は無理。3 月になって雪が少なくなれば...)「3 月に御在所に行こうか?」「いいネ~、お願いします」 早速、インターネットで 3 月の御在所を調べてみると、裏道ならアイゼンなしでも可能との事。(シメタ!) 2 月半ばも過ぎて、藤田から「今年は雪も多く、念の為にアイゼンを持って行った方がいい」とアドバイス。再度、インターネットで最新情報を調べると藤内小屋でアイゼン装着とあり、「軽アイゼンでもいいので用意」とメンバーへ再連絡。そんなこんなで、当日、デンソーの 3 人は刈谷へ 7 時集合。尾崎号で出発。8 時頃、御在所 SA で田中貴金属の山岳部という 2 人と合流。お二人の山の経歴を伺い、一安心。9 時前にスカイラインの冬ゲートに到着し、登山準備、9:05 に出発。三々五々、世間話をしつつ、裏道登山口へ。ここから、尾崎さんをトップに登る。ポレポレのいいペースだ。20 分位、歩いた所で暑く感じ上着を脱ぐ。約 1h で藤内小屋へ到着。ワンちゃんの出迎えを受けて 1 本。まだ雪もなく、そのまま登る。しばらく歩く内に雪が出始める。藤内壁へのルートと分かれ、沢を左に、登山道を進む。凍ってる箇所もあり、要注意だ。藤内壁のよく見える所ぐらまで登ると雪がパンパンに残っている。ここでアイゼンを装着する事にした。滑る心配もなくなり歩き易い。アイゼン初体験の H さんも、快調に歩いている。「そろそろ、休みませんか?」との H さんの提案で、傾斜の緩くなった広い所で 1 本。各自、好物の行動食

確認 (リーダー)	
津田	
12.3.14	
作成 (報告者)	
津田	
12.3.14	

で元気回復。少し行くと、国見峠であった。後は、のんびりと樹林の尾根道を歩き、山上公園に出た。下界との遭遇。天気もいいので、頂上までと、Y さんは雪斜面の直登を先陣きって開始した。頂上でゆっくりと昼食を食べる。アイゼンもあり、全員元気なので、変化に富んだ景色を堪能できる中道を降りる事にした。注意すべき箇所はゆっくりと慎重に、又、景色も楽しんで無事下山。H さんの発案で、片岡 で汗を流して、帰路についた。

リーダー所見 結果的には、しっかりと歩けるメンバーがそろい、雪山ハイキングを堪能する事ができた。しかし、3 月になれば雪が溶けているだろうと、安易に考えての当初の計画は反省すべき事であった。その年、その年で残雪の量も変わり、今年は例年よりはるかに多くの雪が残っていた。今後も、安全第一で、自分の身の丈にあった登山を愉快的仲間と共に楽しんでいきたい。



御在所岳山頂